

<>はおもな地点をあらわしています

きせつ
季節のできごと

あき はたけ じゅんび
・秋の畑の準備をしています。<A>

あき みの くり かし み
・秋の実(栗・柿)も見てください。<B・C>

すいでん こめ おひりょう おのうやく ぞど
・水田のお米を無肥料、無農薬で育てています。お米の種類は埼玉県産の「彩のかがやき」です。

かつはじ いねか よてい
11月初めに稲刈りを予定しています。<D>



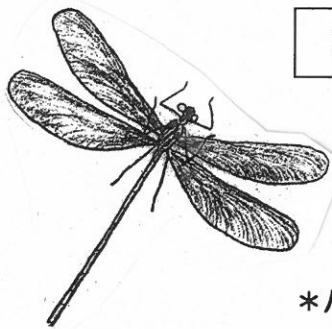
イネ



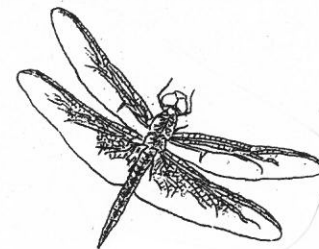
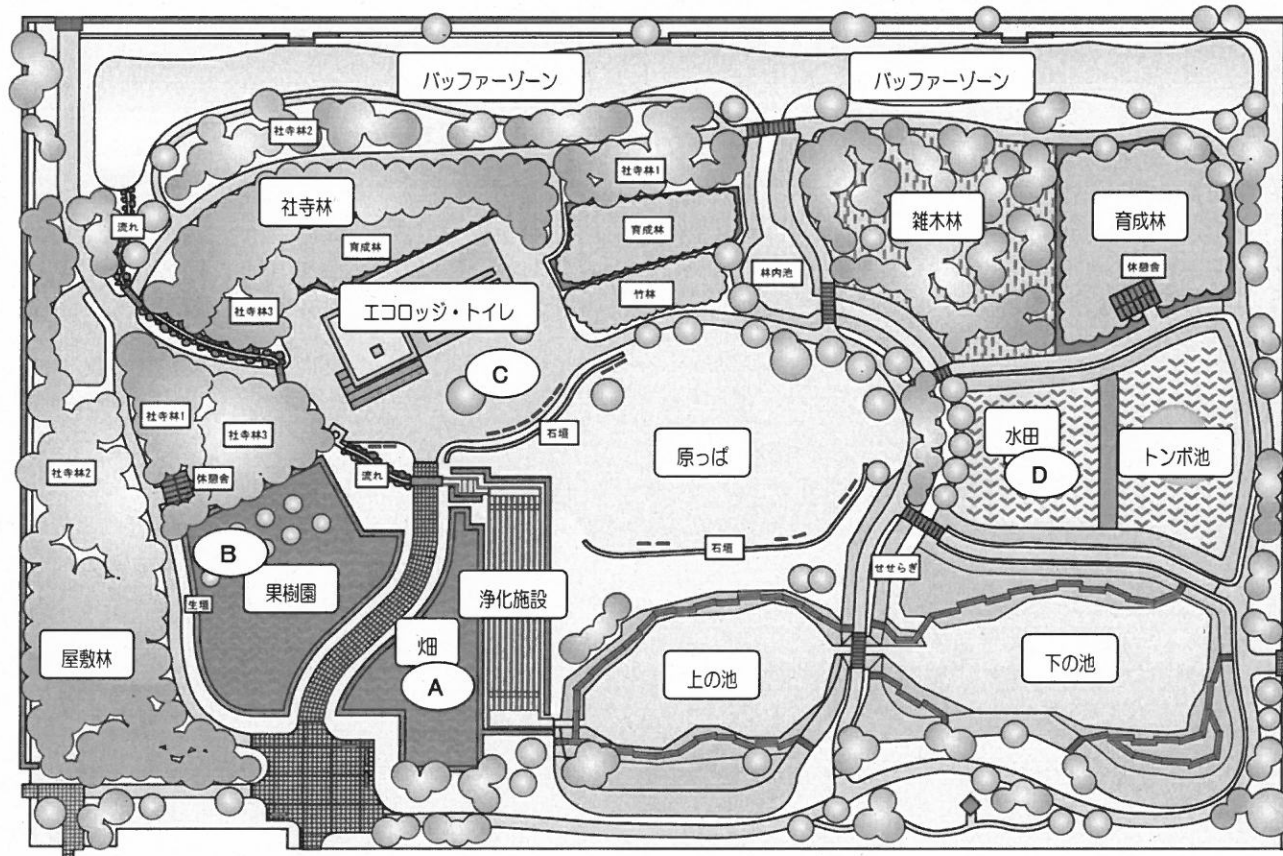
*ショウリョウバッタ



くり
栗



*ハグロトンボ



*ウスバキトンボ



ゲンノショウコ



*エノコログサ
(ネコジャラシ)

てんぼうしつ
展望室

しるし うら せつめい
* 印は、裏に説明があります。

よ さんこう くだ
読んで参考にして下さい。



でいりぐち
出入口

◆◆ショウリョウバッタ ◆◆

耳をすますと、虫の鳴き声がたくさん聞こえるようになりました。姿を見ようとして近づくと、ほとんどの虫は鳴き止んでしまうので、どの虫が鳴いたのかよくわかりません。しかし、ショウリョウバッタは驚くと飛び出します。体が大きいのはメスで、オスの倍くらいあります。オスは体が小さく、飛ぶときに前後の翅をうちあわせてキチキチと鳴きます。旧暦のお盆の頃（8月中旬）から見られるようになるので、精霊（しょうりょう）バッタと名付けられたそうです。

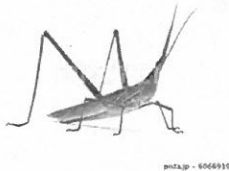


photo - 6066910

◆◆エノコログサ ◆◆

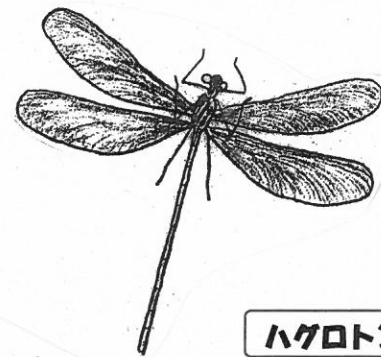
エノコログサは狗子草と書き、エノコはこいぬ、口は尾っぽで、フラシ状の穂が顔になびく穂子の子犬がしっぽをふる姿にみたてています。蘭名ではネコジャラシの別名の方がつかわれているかもしれません。英名ではキツネのしっぽと呼ばれているそうです。今の圃内はエノコログサやススキ、メヒシバなどが自立ちますが、タカサゴユリ（白）、ツユクサ（青）、ノアザミ（ピンク）なども点在しています。



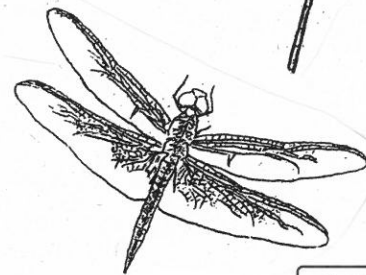
◆◆ハグロトンボ・ウスバキトンボ ◆◆

生態園で林内池などのやや暗いところを、ひらひらと飛んでいる黒いはねのトンボは、ハグロトンボです。朝、開園時にトンボ池の上を黒いはねをはためかせて飛ぶ園玄（翅が深くはかりしれないこと）な姿は、別名、神様トンボと呼ばれているのも納得な気がします。羽化後しばらくは、水辺の林や社寺林などで暮らします。一般的に成虫になったばかりの頃は、林などの暗い場所を好みますが、そのうち明るい水辺に戻ります。

ウスバキトンボは、体の色はオレンジ色で、はねの大きなトンボです。飛ぶ力が強く、毎年、南方から世代をくり返しながら北上します。埼玉県には7月頃に到達し、水田を主な繁殖地としてさらに数を増やし、北上を続けます。毎年、北海道の北端まで分布を広げますが、寒さの訪れとともに死に絶えてしまいます。



ハグロトンボ



ウスバキトンボ

～生態園にはここに紹介した植物や、昆虫以外にも多く生息しています。

ぜひ皆さんの目で、耳で探してみてくださいね。～

